

市民の文化芸術に関する意識調査の集計結果について

全 体：下記の全世代を統合した集計結果

世代別：中学生、高校生、大学生、一般の4区分ごとの集計結果

性 別：男性、女性での比較。「不明」「無回答」は含まない。

経験別：問5 普段から文化芸術活動に親しんでいますか？の問に対して、

「親しんでいる・行っている」と回答されたものを「経験あり」と表記。

「親しんでいない・行っていない」と回答されたものを「経験なし」と表記。

文化団体：市内文化団体へのアンケートで、上記の「全体」には含まない。（問6以降のみ）

問1 あなたについてお聞きします。

(1) 性別

【全体の傾向】

男性 49%、女性 50%と、ほぼ同数であった。

【経験別の傾向】

「経験あり」の62%が女性、「経験なし」の52%が男性（ほぼ半数）となった。

(2) 年代

【全体の傾向】

サンプルは中高生の数が多く、75%を占める。

(3) 普段から何らかの文化芸術に興味・関心があるか？

【全体の傾向】

「とてもある・どちらかと言えばある」54%、「全くない・どちらかと言えば薄い」が44%となった。

【世代別の傾向】

「とてもある・どちらかと言えばある」が大学生、一般が共に高く61%、高校生55%、中学生47%となった。一般>大>高>中学生である。

【経験別の傾向】

「経験あり」の91%が「とてもある・どちらかと言えばある」。一方、「経験なし」は42%。

「経験のある・なし」で大きな差がでた。

(4) 前の問(3)で興味・関心が「ある・どちらかと言えばある」と回答した人が「興味・関心がある分野」は？

【全体の傾向】

「日本の伝統的な文化芸術」が一番高く53.3%

【世代別の傾向】

「日本の伝統的な文化芸術」が各世代で最も高くなった。一般では、八戸地域の文化が二番目に高いが、他世代では最も低くなった。中学生、大学生では、最先端の文化への興味も高い。

【経験別の傾向】

「経験あり・なし」とも「日本の伝統的な文化芸術」が50%を超え、他を引き離し最も高くなった。

(5) 普段から文化芸術活動に親しんでいるか？

いずれの世代も4人に1人が親しんでおり、3人が親しんでいない結果となった。

問2 文化芸術に関する八戸市のイメージ／文化芸術が盛んな街かどうか？

【全体の傾向】

「盛んな街だと思う・やや思う」が48%、「盛んな街だとあまり思わない・思わない」が51%と、半分に分れる結果となった。

【世代別の傾向】

「盛んな街だと思う・やや思う」が中学生で最も高く56%、他は45%前後（高校生47%、大学生44%、一般45%）となった。

【経験別の傾向】

「経験あり」の層では、「盛んな街だと思う・やや思う」が64%、「経験なし」の層では「盛んな街だと思う・やや思う」が43%となり、「経験のあり・なし」で大きな差が出た。

問3 文化芸術との関わりについて

(1) ジャンル別

① 興味・関心があるものは？

【全体の傾向】

50%を超えたのが、映画、音楽。次いで、30%代で、美術、祭・民俗芸能、舞台芸術、演芸となった。

【世代別の傾向】

50%を超えた映画、音楽では、各世代の関心が高いが、特に大学生から中学生の関心が高い。美術、舞台芸術、演芸では大学生の関心が高い。また、祭・民俗芸能では一般の関心が高い。

【経験別の傾向】

「経験あり・なし」では、美術において関心に大きな差がでている。

② 過去1年間に鑑賞したものは？

【全体の傾向】

「映画」が最も高く54.1%、次いで「祭・民俗芸能」44.1%、「音楽」37.6%、「美術」28.6%。

【世代別の傾向】

「映画」は各世代で高い。特に大学生から中学生が高い。「祭・民俗芸能」は大学生が30%弱で、他の世代の45%前後と比較し低くなっている。

【経験別の傾向】

「経験あり・なし」では、美術において関心同様に鑑賞においても大きな差がでている。

③ 過去1年間に自ら取り組んだものは？

【全体の傾向】

最も高い「文芸」で20.6%。以下、「美術」「生活文化」「音楽」「祭・民俗芸能」と続く。

【世代別の傾向】

数値が高い項目はいずれも、中学生から大学生の数字が高い傾向があり、授業の影響が考えられる。

④市民等による市内での活動が活発だと思うものは？

【全体の傾向】

「祭・民俗芸能」が36.3%と突出して高い。以下、「生活文化」13.5%、「音楽」9.6%、「文芸」9.2%、「美術」「舞踊」と続く。

【世代別の傾向】

「祭・民俗芸能」が一般が41.7%、中学生36.8%、高校生33.9%、大学生27.7%となり各世代で最も高かった。生活文化は各世代共通して13%前後。文芸、舞踊では一般の評価が、他世代と比較して目立って高かった。

⑤鑑賞の機会が増えたほうがいいと思うものは？

【全体の傾向】

「音楽」が最も高く25.8%。次いで「舞台芸術」25%、「映画」20.7%、「演芸」「祭・民俗芸能」と続く。

【世代別の傾向】

「音楽」は世代間の評価が平均して2割～3割台となった。「舞台芸術」では、一般38.7%、大学32%と他の世代より高い数値となった。一般と大学生が中高生より高い傾向を示したのは、「舞踊」「美術」「伝統芸能」であった。

⑥市民等の活動がより活発になることを期待するものは？

【全体の傾向】

「音楽」が最も高く25.4%。次いで、「舞台芸術」23.8%、「生活文化」22.6%、20.4%の同率で「舞踊」「演芸」「祭・民俗芸能」となった。

【世代別の傾向】

「舞台芸術」「音楽」「生活文化」「舞踊」「美術」「文芸」の6ジャンルで、一般の期待が他の世代と比較して大きくなった。

(2)施設別：公共施設

①知らない公共施設について

【全体の傾向】

南郷地区の文化施設のほか、中心市街地では「更上閣」「南部会館」が高い数値となった。「美術館」「博物館」も40%という数値となった。一方、「はっち」「マチニワ」「公会堂」は認知度が高い。

【世代別の傾向】

全ての施設において、大学生が最も高い数値を示した。また、一般と比較すると、中高生も数値が高い傾向があるが、「はっち」「マチニワ」のほか、授業等で利用する機会のあると考えられる「是川縄文博物館」「公会堂」などは、比較の数値が低くなった。

②過去1年間に鑑賞で利用した公共施設について

【全体の傾向】

3割を超えたのは、高い順に「はっち」「マチニワ」「公会堂」である。

【世代別の傾向】

「はっち」「マチニワ」「公会堂」については、中高生の利用度が高いが、一般の利用度も高い。3施設以外で、3割を超えたのは、一般の「図書館」利用、一般の「八戸市公民館」利用のみ。全ての施設

で、一般の利用が高い傾向がある。

【経験別の傾向】

「経験あり」の層が「経験なし」の層を上回る傾向がある。特に、「はっち」「図書館」「ブックセンター」「公会堂・公民館」で違いが大きい。

③過去1年間に創作、練習、発表等で利用した公共施設について

【全体の傾向】

「公会堂」が最も高く16.3%。次いで「はっち」12.4%、「八戸市公民館」10.7%となった。

【世代別の傾向】

「公会堂」が中学生で最も高く33.7%で、高校生12.3%、大学生9.1%、一般6.2%となった。一般では「地区公民館」最も高く10.6%、中学生3.8%、高校生3.6%、大学生1.7%となった。また、「はっち」は大学生と高校生の利用が一般を上回った。

【経験別の傾向】

「経験あり」の層では「公会堂」25.6%、「経験なし」の層では「公会堂」13.2%となり、大きな差が出た。また、「はっち」や「八戸市公民館」で同様の傾向がある。

④文化施設に関する催しが盛んだと思う公共施設について

【全体の傾向】

「はっち」が最も高く35.0%。次いで、「マチニワ」22.7%、「公会堂」19.7%、「是川縄文館」12.6%、「八戸市公民館」11.4%となった。

【世代別の傾向】

「はっち」では大学生以外で概ね3割以上が活発と評価している。「マチニワ」は高校生が、「公会堂」は一般が、「是川縄文館」は中学生が評価しており、普段の利用に応じた結果であると推測される。

⑤鑑賞機会の提供について、より充実を期待する公共施設について

【全体の傾向】

「はっち」が最も高く32.4%。次いで、「マチニワ」30.1%、「公会堂」26.7%、「ブックセンター」24.9%、「是川縄文館」23.6%、「美術館」22.5%の順となった。

【世代別の傾向】

一般の「公会堂」36.7%が最も高く、次いで、一般の「美術館」36.4%、「マチニワ」36.1%、「はっち」35.9%と続く。

(2)施設別：民間施設

①知らない民間施設について

【全体の傾向】

5割を下回ったのは低い順に「厨ホール」19.7%「フォーラム八戸」21.7%、「デーリー東北ホール」44.8%で、他は概ね7割超となった。

【世代別の傾向】

大学生の認知度がいずれの施設でも高い数値であるが、「八戸酒造」は中高生が大学生を上回った。

②過去1年間に鑑賞で利用した民間施設について

【全体の傾向】

「フォーラム八戸」が最も高く33.3%。次いで「厨ホール」22.9%。他は10%を下回った。

【世代別の傾向】

ホールや美術館では一般の利用が比較的高い。ライブハウスは、大学生の利用が高い。

③過去1年間に創作、練習、発表等で利用した民間施設について

【全体の傾向】

「厨ホール」が最も高く8.1%。次いで「八戸フォーラム」5.4%、「デーリー東北ホール」4%となった。他施設は軒並み1%を前後だった。

④文化施設に関する催しが盛んだと思う民間施設について

【全体の傾向】

「厨ホール」が最も高く22.0%。次いで、「八戸フォーラム」13.7%、「デーリー東北ホール」7.6%、「街かどミュージアム」3.6%、「八戸酒造」2.9%となった。

【世代別の傾向】

「厨ホール」が中学生から大学生の評価が比較的高く、「デーリー東北ホール」「八戸酒造」「街かどミュージアム」では一般の評価が比較的高くなった。

⑤鑑賞機会の提供について、より充実を期待する民間施設について

【全体の傾向】

「厨ホール」が最も高く28.4%。次いで、「八戸フォーラム」27.8%、「デーリー東北ホール」17.2%、「街かどミュージアム」11.7%、「八戸酒造」11.2%、ついで10%代でライブハウスが続いた。

【世代別の傾向】

世代別では、④盛んだと思う質問と同様の傾向だが、加えて各施設共10%前後の期待が寄せられた。

(3)事業別 ※過去1年間に八戸市が関わって実施された文化プログラムについて

(3)①知っている事業で最も高かったものについて

【全体の傾向】

最も高い「はっち市」で30.4%。「ジャズフェス」25.6%、「和日カフェ」13.6%、「酔っ払いに愛を」13.5%、「まちぐみ」12.2%、「八戸演劇祭」11.9%、「八戸工場大学」11.8%と続く。

【世代別の傾向】

3割を超えたものは、一般の「ジャズフェス」55.7%と、一般の「はっち市」48.5%の2項目であった。

【経験別の傾向】

全ての事業について、「経験あり」の層が、「経験なし」の層を明らかに上回った。

(3)②過去1年間に利用や鑑賞、参加した事業について

【全体の傾向】

最も高い「はっち市」で9.3%。「ジャズフェス」3%、「和日カフェ」2.7%と続く。

【世代別の傾向】

各世代とも「はっち市」が最も高い。他の事業については、一般と大学生で事業毎に少し数値が出ているが、特に高校生と中学生の数値は、「ジャズフェス」と高校生の「まちぐみ」に数値が出ている以外は

0 付近で推移している。

【経験別の傾向】

「経験あり」の層が、「はっち市」「和日カフェ」「八戸演劇祭」「南郷アートプロジェクト」などにおいて、「経験なし」の層を上回った。

(3)③より充実した事業実施を期待する事業について

【全体の傾向】

「はっち市」「和日カフェ」「ジャズフェス」「八戸演劇祭」順で3割を上回った。他の事業も概ね3割の期待度である。

【世代別の傾向】

大学生の期待が概ね4割台で推移するのに比較して、一般と中学生の期待が2割台で推移している。

問4 文化芸術活動の鑑賞や活動の機会が充実することは、暮らしたい街、住みたい街等、魅力的な街をつくることにつながるか？

【全体の傾向】

「思う」が58%、「思わない」が9%と「わからない」が29%となった。

【世代別の傾向】

「思う」が高校生で最も高く63%、中学生50%、大学生55%、一般62%となった。

「思わない」では、中学生10%、高校生8%、大学生10%、一般13%となった。

「わからない」では、中学生36%、高校生28%、大学生33%、一般21%。

【経験別の傾向】

「経験あり」の層では「思う」が76%、「経験なし」の層では「思う」が52%となり、大きな差が出た。

問5 問4で「思わない」・「わからない」と回答した人が、そのように考える理由は？

【全体の傾向】

「普段、文化芸術に触れる機会がなく、よくわからないため」が最も高く52.6%

【世代別の傾向】

「普段、文化芸術に触れる機会がなく、よくわからないため」が中学生で最も高く57%、高校生56%、大学生46%、一般42%となった。

【経験別の傾向】

「経験あり」の層では「文化芸術は個人の好みの問題なので、まちづくりとは関係がないため」が50%、「経験なし」の層では「普段、文化芸術に触れられる機会がなく、よくわからないため」が55%となった。

問6 文化芸術に関して、行政（県や市等）が取り組む必要があると思うものは？（上位5位集計）

【全体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	イベント情報の提供	42	鑑賞や体験の提供	41	クリエイティブ人材の集積	36	祭等の保存・継承	30	練習場所の確保	27
【世代別】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
一般	鑑賞や体験の提供	49	祭等の保存・継承	49	イベント情報の提供	45	活動支援・助成	43	文化財の保存・活用	40
大学生	イベント情報の提供	53	鑑賞や体験の提供	48	クリエイティブ人材の集積	46	活動支援・助成	37	祭等の保存・継承	32
高校生	イベント情報の提供	39	鑑賞や体験の提供	38	クリエイティブ人材の集積	30	練習場所の確保	25	祭等の保存・継承	21
中学生	クリエイティブ人材の集積	44	イベント情報の提供	42	鑑賞や体験の提供	38	練習場所の確保	33	祭等の保存・継承	33
【経験有無】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
経験あり	イベント情報の提供	50	鑑賞や体験の提供	49	クリエイティブ人材の集積	45	祭等の保存・継承	37	練習場所の確保	34
経験なし	イベント情報の提供	40	鑑賞や体験の提供	39	クリエイティブ人材の集積	33	祭等の保存・継承	28	練習場所の確保	25
【文化団体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	活動支援・助成	52	文化施設の整備	48	発表場所や機会の確保	44	イベント情報の提供	33	鑑賞や体験の提供	33

問7 文化芸術に関して、民間（企業、市民団体等）が取り組む必要があると思うものは？（上位5位集計）

【全体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	イベント情報の提供	38	鑑賞や体験の提供	34	クリエイティブ人材の集積	26	祭等の保存・継承	25	練習場所の確保	24
【世代別】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
一般	祭等の保存・継承	47	イベント情報の提供	45	鑑賞や体験の提供	41	活動支援・助成	40	発表場所や機会の確保	28
大学生	イベント情報の提供	48	鑑賞や体験の提供	45	クリエイティブ人材の集積	30	活動支援・助成	29	祭等の保存・継承	29
高校生	イベント情報の提供	35	鑑賞や体験の提供	32	クリエイティブ人材の集積	24	練習場所の確保	22	活動支援・助成	18
中学生	イベント情報の提供	32	クリエイティブ人材の集積	28	鑑賞や体験の提供	28	練習場所の確保	27	祭等の保存・継承	23
【経験有無】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
経験あり	イベント情報の提供	45	鑑賞や体験の提供	42	クリエイティブ人材の集積	33	練習場所の確保	32	祭等の保存・継承	31
経験なし	イベント情報の提供	45	鑑賞や体験の提供	42	クリエイティブ人材の集積	33	練習場所の確保	32	祭等の保存・継承	31
【文化団体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	活動支援・助成	44	イベント情報の提供	39	鑑賞や体験の提供	36	発表場所や機会の確保	32	後継者育成支援ほか2	24

問8 普段、文化芸術に関するイベントや出来事に関する情報の入手は？（上位5位集計）

【全体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	テレビ	42	チラシ・ポスター	34	新聞	31	SNS	28	家族・友人・知人	27
【世代別】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
一般	新聞	59	広報はちのへ	53	チラシ・ポスター	45	テレビ	36	家族・友人・知人	20
大学生	SNS	47	テレビ	46	チラシ・ポスター	29	家族・友人・知人	26	新聞・施設	15
高校生	テレビ	36	SNS	32	チラシ・ポスター	28	家族・友人・知人	23	新聞	22
中学生	テレビ	57	チラシ・ポスター	38	家族・友人・知人	38	新聞	32	SNS	21
【経験有無】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
経験あり	テレビ	48	チラシ・ポスター	43	SNS	37	新聞	36	家族・友人・知人	34
経験なし	テレビ	41	チラシ・ポスター	30	新聞	29	SNS	25	家族・友人・知人	24
【文化団体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	新聞	72	チラシ・ポスター	48	広報はちのへ	38	家族・友人・知人	36	施設（はっち・公会堂等）	36

問 9 文化芸術の持つ可能性を活かせるか、又は活かしてほしいと思う分野は？（上位 5 位集計）

【全体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	観光	43	まちづくり	33	国際交流	21	教育	21	わからない	16
【世代別】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
一般	観光	45	まちづくり	37	教育	31	国際交流	18	福祉	17
大学生	観光	51	まちづくり	41	国際交流	22	教育	22	わからない	16
高校生	観光	43	まちづくり	31	国際交流	22	教育	19	わからない	15
中学生	観光	40	まちづくり	29	国際交流	19	わからない	19	教育	18
【経験有無】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
経験あり	観光	49	まちづくり	43	教育	28	国際交流	25	福祉	12
経験なし	観光	42	まちづくり	30	国際交流	19	教育	19	わからない	18
【文化団体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	教育	48	まちづくり	43	観光	28	福祉	22	国際交流	18

問 10 「多文化都市八戸」という言葉を知っているか？

【全体の傾向】

「知らない」が最も高く 77%

【世代別の傾向】

「知らない」が中学生で最も高く 87%、高校生 81%、大学生 78%、一般 64%となった。

【経験別の傾向】

「経験あり」の層では「知らない」70%、「経験なし」の層では「知らない」80%となった。

【文化団体】

「知っている」が 24%、「聞いたことがあるが内容はわからない」が 37%、「知らない」が 32%となった。

問 11 「八戸市文化のまちづくりビジョン」を知っているか？

【全体の傾向】

「知らない」が最も高く 78%

【世代別の傾向】

「知らない」が中学生で最も高く 87%、高校生 82%、大学生 82%、一般 61%となった。

【経験別の傾向】

「経験あり」の層では「知らない」71%、「経験なし」の層では「知らない」80%となった。

【文化団体】

「知っている」が 17%、「聞いたことがあるが内容はわからない」が 49%、「知らない」が 27%となった。

問 12 今後、八戸市の文化芸術政策の目指すべき姿（方向性）として特に大切だと思うものは？（上位 5 位
集計）

【全体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	地域間・国際交流	737	創造・発展・継承・機会	719	共生社会	639	地域文化コミュニティ	536	イノベーションと活力	500
【世代別】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
一般	創造・発展・継承・機会	161	地域間・国際交流	110	共生社会	95	地域文化コミュニティ	93	イノベーションと活力	80
大学生	共生社会	88	地域間・国際交流	84	イノベーションと活力	84	創造・発展・継承・機会	77	地域文化コミュニティ	63
高校生	地域間・国際交流	338	創造・発展・継承・機会	302	共生社会	299	地域文化コミュニティ	227	イノベーションと活力	219
中学生	地域間・国際交流	205	創造・発展・継承・機会	179	共生社会	157	地域文化コミュニティ	153	イノベーションと活力	117
【経験有無】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
経験あり	地域間・国際交流	214	共生社会	188	地域間・国際交流	177	イノベーションと活力	126	地域文化コミュニティ	112
経験なし	地域間・国際交流	560	創造・発展・継承・機会	505	共生社会	451	地域文化コミュニティ	424	イノベーションと活力	374
【文化団体】										
区別	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値	項目	数値
全体	創造・発展・継承・機会	47	地域文化コミュニティ	43	地域間・国際交流	21	共生社会	21	イノベーションと活力	12